

野田生小だより

平成23年 3月11日(金)発行 八雲町立野田生小学校 329号

二海郡八雲町野田生457番地2 Tel (0137) 66-2014 Fax (0137) 66-2953
PC用HPアドレス <http://www2.town.yakumo.hokkaido.jp/~nodai-es/>



学校教育目標
考える子
強い子
正しい子
仲よい子

3月になると

特別支援担任 寺崎 史歩

毎年3月になると、自分が6年生だった時の卒業式を思い出す。

私が小学校6年間を過ごしたのは、新潟市立五十嵐(いからし)小学校(読み方こそ少し違い、偶然にも五十嵐校長先生と同じ名前の小学校)。校区が広く、私の家からは徒歩30分かかった。家から学校まで行く中間地点で忘れ物を思い出した時は辛かった。忘れものを取りに戻ったら学校に遅刻して怒られるし、遅刻しないようにまっすぐ学校に行けば、忘れ物をしたことで怒られるのだ。そんな究極の選択を何度か経験した。

30分かけて歩いて行った小学校は、海辺の丘の中腹にあり、高学年教室の廊下からは海が見えた。春には玄関前の桜の大木が満開になり、今思えばなかなか風情のある小学校だった。小学校には、とにかくたくさん子どもがいた。1学級に約40人、1学年は6クラス、全校では1000人を超す大規模校で、学年の半分が顔だけ知っている程度の同級生だった。

ぼんやりと小学校生活を送っていた私は、卒業が近づいても、小学校を卒業するということがどんなことかわからず、「みんなとお別れといっても、中学校も同じだしなあ」と思っていた。卒業式本番になっても、このままの気持ちで卒業していくのだと思いながら、やはりぼんやりと式をこなしていたが、思いがけず胸が熱くなる瞬間があった。『ありがとうさようなら』という歌を歌った時だ。その歌詞は、1番は友だちに、2番は教室に、3番は先生に別れを告げている。

1 ありがとう さようなら 友だち
ひとつずつの笑顔 はずむ声

夏のひざしにも 冬の空の下でも
みんなまぶしく 輝いてた
ありがとう さようなら 友だち

2 ありがとう さようなら 教室
走るようにすぎた 楽しい日

思い出のきずが 残るあの机に
誰が今度は すわるんだろう
ありがとう さようなら 教室

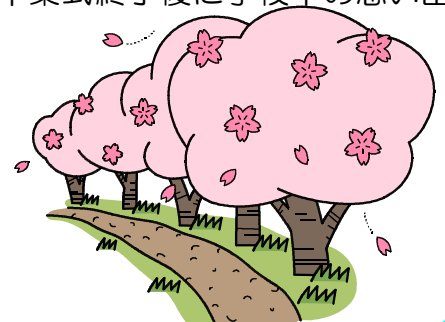
(3番省略)

小学校から見た景色は、中学校では見るできない。友達も、小学校と中学校で雰囲気も付き合い方も変わる。小学校でしか見られない景色や小学生でしか築けない友情が、実はたくさんあったのだ。そんなことを伝えているような気がして、小学校生活の終わりを実感したのだ。そう思ったら急にぼんやり卒業してはいけないような気がして、卒業式終了後に学校中の思い出の場所を巡った。

それから18年が経っても、思い出巡りをした時のことを思い出し、私の心をあたためる。

野田生小学校の卒業生のみなさんにも、心あたたまる思い出がたくさん出来たことだと思う。

その思い出を心の引き出しにしまっておいて、たびたび思い出して、その時の自分の成長と比べてみてほしい。



23 年度前期児童会役員選挙 ～新会長に飯村くん（5 年）～

2月25日（金）、児童総会と新年度前期児童会役員選挙が行われました。各委員会の委員長より、活動の成果と課題が発表され、意見交換が行われました。引き続き、児童会役員選挙です。立ち会い演説会では、一人一人「全校給食を続けたいです」「元気な学校にしたいです！」「挨拶運動を頑張ります」など抱負を力強く述べました。しっかり演説する子が多く、堂々としていて大変立派でした。



「よろしくお願いします！」



「後期の委員会は・・・！」

開票の結果、以下のみなさんが新年度前期児童会役員に選ばれました。全校のお手本として、正しく学校生活を送りながら、しっかり仕事をこなし、公約を果たしてくれることを願っています。みんなで協力し、よい学校を創っていきましょう。

会長：5年 飯村 太基 くん
副会長：4年 梶田 さくらさん
書記：3年 岡島 由依 さん

今年度まとめの授業参観・懇談会

2月17日（木）、本年度最後の授業参観・懇談が行われました。

1年間の子どもの成長や今後の課題などについて、話し合いがもたれました。子どもたちの成長に、家庭と学校、そして地域の連携・協力は不可欠です。これからも、情報交換をしながら、一人一人の子どもたちの成長を支えていきたいものです。



子どもたちは、大勢の参観者（全学級に野中の校長先生も）に囲まれ、とっても緊張したことでしょう

平成22年度八雲町立野田生小学校

「1年間の教育と次年度の方向性」について

本校では、毎年、次のような方法で反省し、評価を受けて、次年度の教育に生かす努力をしています。

- ①勤務する教職員による自己評価を実施する。
- ②子どもを通学させている保護者（学校関係者）にアンケートを実施し評価を受ける。
- ③学校評議員との意見交流を実施し評価を受ける。

参観日の全体懇談会の中でも紹介しましたが、改めて、その結果について、概要をまとめましたので、お知らせいたします。

教職員の自己評価から



1 学校運営（教育目標、経営方針、校務分掌）

(1) 重点教育目標とのかかわりから

- ・各行事ごとの目標や活動に、学校の重点や、校内研究とのかかわりを盛り込みながら企画・立案することで子どもたちのより良い成長を保証していく。

- ・「特色ある活動」については「野田生ファーム」など、限りある時数であるが、子どもたちに地域住民とのつながりを意識させ、地域住民との交流を深めるよう工夫しながら実施する。

2 教育課程

(1) 朝の時間の活用

- ・「児童とふれあい」「基礎基本学力の育成の時間」であることを再確認し、学級や、児童の実態に応じた活動を実施する。

(2) 野田生ファーム・学級花壇

- ・野田生ファームは、通年同一班で取り組む。環境美化の観点から、月1回は学級花壇整備を行う。

(3) 全体懇談会

- ・年度始めと年度末の2回実施だったものを、次年度は学期末の9月も含めて、年3回実施する。

(4) ワークテストの購入

- ・市販のワークテストの購入の学校としての指針をたて、それを保護者に理解してもらい、市販ワークテストを購入する。このことで、保護者負担の軽減を図ることができる。

(5) クラブ活動

- ・児童数の減少から前期は運動系、後期は文化系の活動を4年生以上の全員で一つの活動を行う。

(6) 日課表

- ・学習指導要領が完全実施されるため、新年度から2年生の6時間目を火曜日に設定する。

3 生徒指導（校内外生活，児童委員会，安全）

(1) 基本的生活習慣

- ・廊下歩行、返事・挨拶、言葉づかい、入退室など「正しくあるべき姿」を職員が共通理解のもとに指導する。

(2) 児童朝会

- ・これまで、毎週行ってきたが、内容を精査して第1・3の月曜日の2度実施することとする。各種表彰式、音楽集会などは、必要に応じてその都度対応して実施する。

(3) 委員会活動

- ・児童数の減少から、「なかよし」「さわやか」「すこやか」の3委員会を2委員会に縮小して活動を行う。

4 保健体育関係

(1) 「なわとび」の実施について

- ・次年度も体力づくりの観点からも計画的継続的に実施する。また、生徒指導部の担当であった「なわとび大会」は、「なわとびに関わること」として、保体部が一括して推進する。
- ・4月後半に合同体育を設定し、取り組みへの意欲化を図る。

(2) 給食・清掃指導

- ・なかよし給食は、次年度も月2回の実施を基本として実施する。
- ・給食指導、清掃指導共に各学担、各担当で経営計画に基づいて適切に指導する。

(3) 重点教育目標等を受けて、それらの達成につながる活動の吟味、構成、展開を考える。

5 特別支援関係

(1) 教材，教具の整備

- ・支援学級担任が作成したものも含め、現在学校にある教材・教具の整理及び、今後必要と思われるもののリストアップをする。

(2) 児童理解への働きかけ

- ・特別支援学級児童への共通理解及び確認の場を、新年度設ける。

(3) T・T体制（協力教授）体制について

- ・支援が必要な子の情報交換は次年度以降も継続し、職員間で連携を図っていく。支援が必要とされる子については、可能な限り支援体制をとるように計画する。時間割を工夫し、特別支援担任等がT・Tとして支援に入るように計画する。

6 事務関係

- (1) 教材備品・教材教具の整備
 - ・必要なものについては、意図的、計画的に希望を出すようにしてほしい。
- (2) 施設整備
 - ・体育館、廊下等の雨漏りやすがもり等については、危険防止のためにも継続して改修の要望をしていく。また、暖房機についても代替機等の使用を模索中。
- (3) ホームページ
 - ・パソコン用ホームページと携帯用の 2 種類を作成しているが、利用頻度の低さと内容面の充実が難しいため、携帯用ホームページは閉鎖する。
- (4) 保護者負担金について
 - ・現状を精査したものを作成したので、次年度以降混乱の無いように活用する。

7 その他

- (1) スポーツ少年団
 - ・本年度中に保護者総会を開催し、スポーツ少年団活動の現状を理解してもらい、今後のあり方について相談する方向で働きかける。
- (2) 学校だよりの全戸配布
 - ・学校での子どもたちの様子や地域にある学校の教育活動を知っていただくために全戸配布をしているが、桜野地区は昨年度で、沼尻地区も今年度で小学生がいなくなる。学校としては、各町内会に協力していただき、全戸配布を続けていきたいと考えている。

※昨年度より、配布方法につきましては、以下のようになっておりますので再度お知らせいたします。

- ①沼尻（野田生 1 区町内会）は、町内会長（安藤辰行さん）へ届け、そこから各班へ配布する。（配布日が限定されてしまうため、各家庭には期日より大きく遅れるものもあり、今後、新聞折り込みなどの方法も検討していきます）
- ②大木平・桜野・柏木地区は、新聞折り込みで配布する。
- ③上記以外は、今までどおりに保護者・児童の協力を得て配布する。

◎「届かなくなった」というご家庭や、そのようなお話を聞きましたら野田生小学校までお知らせ願えれば幸いです。

保護者による評価から

[次年度の展望]

- わずかながらでも、評価の上がった項目については、次年度以降も学校として引き続き努力していきます。
- 評価の下がった項目のうち「基礎的学力」は、今後も校内研修を充実しながら、わかる授業づくりに努め、学力の向上を図っていきます。また、今年度実施した冬季休業中の「学習サポート」なども活用しながら、学校として、基礎的・基本的な学力の習得に一層努力を重ねていきます。

次年度からは、「学習指導要領」が大幅に改正され、学校での教育内容が増えることとなります。教科書も厚くなり、授業時数の増える学年もあります。このことが、子どもたちの負担にならないように配慮しながら学習を進めていくことは学校だけの力では限りがあります。各ご家庭でも、帰宅後の宿題や、家庭学習、読書など学習時間の適切な確保に努めて「家庭での学習習慣」を付けていただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校評議員による評価から

- 今年度、前任者の任期満了に伴い、3 名の新体制で運営してまいりました。
- 今年度、学校に対する意見は特段寄せられませんでした。今後とも学校経営に様々な角度から、ご意見をいただきながら協力していただきたいと思います。